

いじめ防止基本方針

粕屋町立粕屋中央小学校

1 いじめの定義といじめに対する本校の基本認識

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

（平成25年6月：「いじめ防止対策推進法」）

具体的にはいじめの態様には、以下のようなものがある。

- ◇ 理由もなくいじわるなことをされる。
- ◇ 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ◇ 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ◇ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ◇ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ◇ 金品をたかられる。
- ◇ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ◇ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ◇ パソコンや携帯電話等で誹謗中傷や嫌なことをされる。

いじめは、子どもの心を深く傷つけ、子どもの成長、将来の生き方に重大な影響を与えるだけでなく、子どもの生命や身体に重大な危険を生じさせるものである。それで、このようないじめをなくそうと、様々な所で多様な取組が行われてきたが、未だに、子どもの生命や身体に重大な危険が生じる事案が発生している。

このような状況の中、本校では、いじめ問題について全職員で真剣に考え、それぞれの役割と責任を自覚し、積極的にいじめ防止に向けた取組を行っていく。

本校では全ての職員が「いじめは、どの学校・どの学級でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童はいない。」という基本認識にたち、全校の児童が「いじめのない明るく楽しい学校生活」を送ることができるように、「いじめ防止基本方針」を策定した。

いじめ防止のための基本姿勢として、以下の5つのポイントをあげる。

- ① いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。
- ② 児童一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。
- ③ いじめの早期発見のために、様々な手段を講じる。
- ④ いじめの早期解決のために、当該児童の安全を保証するとともに、学校内だけでなく各種団体や専門家と協力をして、解決にあたる。
- ⑤ 学校と家庭が協力して、事後指導にあたる。

2 いじめの未然防止のための取組

(1) いじめを生まない教育活動

児童一人一人が認められ、お互いに相手を思いやる雰囲気づくりに学校全体で取り組

む。また、教師一人一人が分かりやすい授業を心がけ、児童に基礎・基本の定着を図るとともに学習に対する達成感・成就感を育て、自己有用感を味わい自尊感情を育むことができるように努める。道徳の時間には命の大切さについての指導を行う。また、「いじめは絶対に許されないことである」という認識を児童がもつように、教育活動全体を通して指導する。そして、見て見ぬふりをすることや知らん顔をすることも「傍観者」として、いじめに加担していることを知らしめる。

① いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。

ア あいさつ運動

人と人との関わりをつくる朝の挨拶をJRCや児童会活動で推進する。

イ ひまわりの日（教育相談）

児童の不安解消やなやみに応じて支援する日として設定する。

ウ 道徳の日

9月の学校開放日に自己肯定感を育てる日（道徳の日）として位置づけ、かがやき、あおぞら、心のノート、道徳教材等を活用して命の学習、人間関係、集団育成など心の育成を図る。

エ PTA家庭支援運動

早寝早起き運動、いじめチェックリスト配布、家庭教育リーフレットなどで学校と家庭の連携を図る。

1年生：基本的生活習慣の連携した指導

2年生：学校公開日の道徳授業「キラキラ見つけ」

3年生：リーフレット配布、いじめ不登校対応、家庭学習の習慣作り

4年生：リーフレット配布、いじめ不登校対応、家庭学習の習慣作り

5年生：学年通信、いじめチェックリストとともに学年で話し合い

6年生：学年通信、いじめチェックリストとともに学年で話し合い

② 児童一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。

ア 一人一人が活躍できる学習活動

「健康な心や体づくりなどの基本的な生活習慣の定着は学習を支える生活基盤となるものである。」という立場に立ち、以下の教育活動を推進する。

- ・ 健康教育の実践「しよ：食事 う：運動 り：立腰 は：歯磨き」の充実
- ・ レッツGo!チャレンジ等異学年交流の充実
- ・ 児童の自発的な活動を支える委員会活動の充実
- ・ 児童が主体的に取り組める学習活動、自学、自主学习プリント等の工夫

1年生：国語表現活動、昔の遊び

2年生：特別活動授業「交互食べ」

3年生：総合幼稚園交流、当番や係活動

4年生：給食、日直、係活動の話し合い活動の活性化で責任感、貢献意識、役割意識の醸成

話の聞き方、交流のさせ方の指導

（うなずいて、質問する、〇〇さんと似ていて、〇〇さんと違って）

5年生：国語「伝えよう委員会活動」で4年生へ向けて活動紹介

実行委員会制を取り入れて色々な行事活動への取組

6年生：1年生との交流活動

委員会活動で全校の児童を動かす責任感・達成感を味わわせる協力体制作り、自主性の育成、学年習熟度別学習（主として算数）

イ 人との関わり方を身に付けるための活動

朝の活動で読書活動、朝の清掃活動、朝の体力向上活動など学級の児童が係わる活動を行い、自尊感情を育み、明るく楽しい学校生活を送ることができるようにする。

1年生：朝の活動で大縄跳び、集団遊び、長寿双葉会と昔の遊び

2年生：くすのきタイム大縄跳び

3年生：体力向上（なわとび）の充実、昼休みみんなで遊ぶ日の設定

4年生：様々な活動の中での小さな社会の体験（挨拶や感謝の言葉、教師に対する言葉遣い、話の聞き方や交流方法等の体験）

5年生：体育「駅伝」を学年体育で実施、チームで協力して行う

学年音楽で合唱・リコーダーの練習

6年生：学年レクレーション

学年で年間で取り組む大縄

読書推進

ウ 安心して自分を表現できる年間カリキュラムの作成

年間カリキュラムにおける表現力の育成を図る項目や内容を明確にし、見通しをもって学習に取り組める発問や指導方法を工夫する。

1年生：国語、生活科

2年生：発問計画を立てた実践

3年生：教科等の学習過程、一人一人の実態等に応じた表現力育成指導

4年生：学習パターンに慣れさせる指導と個のよさを発揮させる指導

5年生：日記、自学の取組 行事ごとに絵日記での振り返り活動

6年生：校内研究での指導法の工夫改善

同学年研修会

エ 人とつながる喜びを味わう体験活動

友達と分かり合える楽しさや嬉しさを実感できる確かな力の育成と、相互交流の工夫を行うことでコミュニケーション力を育成する。また、学校行事や児童会活動総合的な学習の時間や生活科における道徳性育成に資する体験活動の推進を行う。

1年生：老人会と年賀状、たこ揚げ、6年生との交流活動

2年生：お楽しみ会、創作活動、昼休みの学級皆の遊び、生活科「おでんパーティー」「ポップコーン作り」

3年生：総合年4回の幼稚園交流、園児との交流、友だちと協力し準備

4年生：上学年が下学年に掃除や給食当番の仕事を教える場づくり

朝の活動を生かして学年集会を開く（月の歌、群読、〇〇活動のよさ発表、共通理解しておくこと）

5年生：総合「大豆を育てよう」JAの方の味噌造りの指導、感謝の会などでJAや地域の方との交流

募金活動、フィリピン台風災害救援活動

集団宿泊活動

6年生：修学旅行、秋の遠足でのフィールドワーク等のグループ活動

委員会縦割りグループによる活動

(2) いじめの早期発見の充実

- ① 「いじめはどの学校でも、どの児童にも起こりうるものである。」という基本認識に立ち、全ての教員が児童の様子を見守り、日常的な観察を丁寧に行うことにより、児童の小さな変化を見逃さない鋭い感覚を身に付けていくことが必要である。
- ② おかしいと感じた児童がいる場合には、学年団や生徒指導委員会等の場において気付いたことを共有し、より大勢の目で当該児童を見守る。
- ③ 様子に変化が見られる場合には教師が積極的に働きかけを行い、児童に安心感をもたせるとともに、問題の有無を確かめ、解決すべき問題がある場合には、「ひまわりの日」等、教育相談を活用して当該児童から悩み等を聞き、問題の早期解決を図る。
- ④ 「いじめに特化したアンケート」（記名）を学期に1回行い、児童の悩みや人間関係を把握し、いじめゼロの学校づくりを目指す。
- ⑤ 記名アンケート以外の月には、毎月「生活アンケート（いじめ関係内容を含む）（無記名）」を行い、児童の悩みや人間関係を把握し、いじめゼロの学校づくりを目指す。
- ⑥ Q-Uテストを年1回（6月）に実施し、それぞれの児童の自己肯定感、社会性、学級の支持的風土など、多角的に状況を把握し、改善に努め、指導に生かす。

1年生：日記の活用

2年生：アンケートの実施とその対応

3年生：アンケート、日記の活用

4年生：上学年が下学年に掃除や給食当番の仕事を教える場づくり

朝の活動を生かして学年集会を開く（月の歌、群読、〇〇活動のよさ発表、共通理解しておくこと）

5年生：生活アンケート、日記指導

6年生：生活アンケート、日記指導

(3) いじめの早期対応と継続的指導の充実

- ① いじめ問題を発見したときには、学級担任だけで抱え込むことなく、学校長以下全ての教員が対応を協議し、的確な役割分担をしていじめ問題の解決にあたる。
- ② 情報収集を綿密に行い、事実確認をした上で、いじめられている児童の身の安全を最優先に考え、いじている側の児童に対しては毅然とした態度で指導にあたる。
- ③ 傍観者の立場にいる児童達にも、いじているのと同様であることを指導する。
- ④ 学校内だけでなく各種団体や専門家と協力をして解決にあたる。
- ⑤ いじめられている児童の心の傷を癒すために、SCやSSWや養護教諭と連携を取りながら指導を行っていく。

1年生：担任外教員、SCやSSWとの連携による個別対応

2年生：SCやSSWとの連携による個別対応

3年生：学年会での連携

4年生：学級活動におけるミニ教育相談（一人5分間を年に2～3回）

5年生：道徳の学習でロールプレイを用いてそれぞれの立場に立った気持ちを考えさせ、ちょっとした「からかい」「いじわる」がいじめにつながるという学習「遊び」について学年で指導・・・遊びとはみんなが楽しいと思えるものであり、一方だけが楽しいと思うものは「遊び」ではないという内容

6年生：同学年研修会

SC、SSW、養護教諭との連携

(4) 家庭や地域、関係機関と連携した取組

① いじめ問題が起きた時には、家庭との連携をいつも以上に密にし、学校側の取組についての情報を伝えるとともに、家庭での様子や友達関係についての情報を集めて指導に生かすこととする。決して学校内だけで問題解決をするようなことはしないようにする。

② 学校や家庭にはなかなか話すことができないような状況であれば、「いのちの電話」等のいじめ問題等の相談窓口の利用も検討する。

1年生：連絡帳、日記、家庭での対話

2年生：保護者、SC、SSW、担任外教員との連携

3年生：校区民生児童委員と連携（いじめ、不登校、非行、虐待、不登校、情報交換）

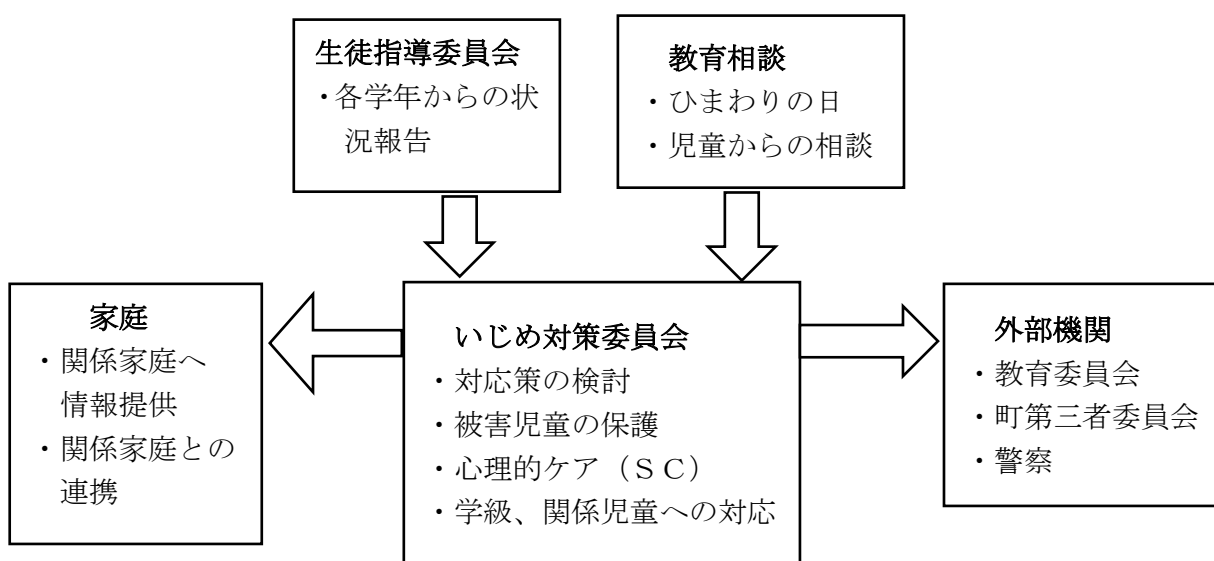
4年生：校区民生児童委員と連携（いじめ、不登校、非行、虐待、不登校、情報交換）

5年生：保護者会、個人面談

6年生：保護者会、個人面談

3 いじめ防止等の推進組織と体制

(1) いじめ防止等の校内委員会と関係機関等との連携



◇ いじめ対策委員会の構成メンバー

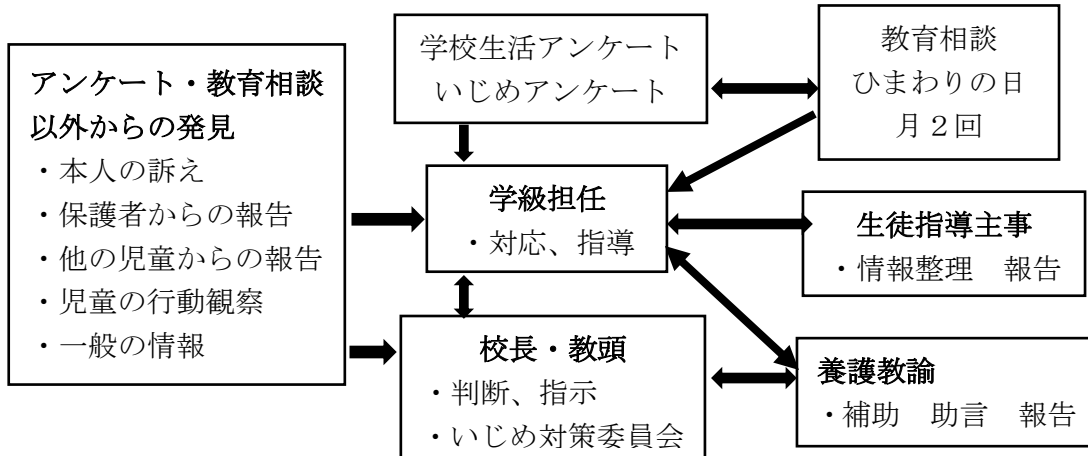
校長 教頭 主幹教諭（教務） 生徒指導担当 教育相談担当者 SC SSW
特別支援教育コーディネーター 養護教諭 当該学級担任

(2) 校内委員会を中心とした年間計画

月	校内委員会	未然防止	早期発見	評価
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校いじめ基本方針、指導計画の確認 生徒指導委員会での情報交換（毎月） 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談の日設定（ひまわりの日、月2回） 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
5	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針の提示（職員への確認・周知徹底） 運動会での指導体制 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会あいさつ運動 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
6	<ul style="list-style-type: none"> いじめ撲滅月間の取り組み いじめ不登校対応研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭向けリーフレット 家庭用チェックリスト掲載の学校通信の配付と地域への回覧 いじめ問題防止や早期発見の協力を求める学年学級通信の発行 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに特化したアンケート（無記名） Q-Uアンケートと分析 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに向けての生徒指導と情報交換 職員研修（いじめの早期発見と対応、対策） 	<ul style="list-style-type: none"> 学級での集会活動 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
9		<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業参観（自己肯定感を高める） いじめ防止教室（ネットいじめについて） 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
10		<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題防止や早期発見の協力を求める学年学級通信の発行 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに特化したアンケート（無記名） 	
11			<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
12	<ul style="list-style-type: none"> 冬休みに向けての生徒指導と情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会あいさつ運動 学級での集会活動 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
1		<ul style="list-style-type: none"> 児童会活動レッツGOチャレンジ（異学年交流の活動） 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	
2		<ul style="list-style-type: none"> くすのきタイム（大縄跳び、人との関わり） 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに特化したアンケート（無記名） 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導委員会（次年度への課題検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 学級での集会活動 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの実施 チェックリストの活用 	

(3) いじめの重大事態への対処

○ いじめの重大事態が発生した際の報告体制



○ いじめの重大事態が発生した際の調査と組織について

